

JR西労組

WEST UNION

創造・参加・実践

No. 353

WING

福岡地本ニュース

J R西労組福岡地方本部
福岡市博多区博多駅前 1-32-1
TEL 092-483-1148
発行責任者 竹本 俊文
編集責任者 尾崎 翼

第29回定期中央本部大会 第2弾

川西書記長代表発言

小委員会で4名が発言

【全体質疑】

福岡地本を代表して川西書記長が発言しました。また新幹線協議会を代表して米村事務局長が発言しました。

【川西書記長】

安全の取り組みについては、これまで労使協議や各種会議の場で問題提起を行ってきた。安全の確立に向けては、更なるJRとグループ会社、協力会社とのコミュニケーションの充実、仕組みの構築が必要である。次期「安全考動計画」策定に向けては、現場の意見を反映するよう本部に要請する。

2017春闘についてである。4年連続のベアを勝ち取ったこと、またグループへの波及効果をもたらしたことについては感謝す



る。しかしまだまだグループ会社社員の賃金は、これから生産人口が減少していく中で、より良い人材を確保していくためには十分とは言えない。次期春闘においてもJR西労組の担う役割は大きい。

今年3月に施行された那珂川町議選についてである。私たちの先輩であり、西労組地方議員団会議所属の「はら弘」氏が2期目の挑戦をした。定数17名に対し、現職15名、新人5名が立候補するという厳しい選挙戦となったが、結果7位当選を果たすことが出来た。町議選に臨むにあたり10月に労組選対を立ち上げ、組合員宅回り、ポスター、組合員行動等を精力的に

取り組む、選挙期間中は投票点検行動を徹底的に取り組み、大きな成果を上げることが出来た。

働き方改革についてであるが、女性が働きやすい環境整備、制度確立に更なる努力が必要である。特に不妊治療に対する制度の確立を強く要請する。

最後に、収入動向も堅調であり、今後も含め社員の

労苦に報いるためにも一時金の支給を求める。

【米村事務局長】

山陽新幹線乗組み数の見直しについてである。提案は秋頃と聞いているが、現場では不安の声がある。客乗の雇用はどうなるのか、車内で放火等の事象が発生している今日、安全は担保出来るのか、インバウンド増、車いす対応増等業務量は増加している。お客様サービス低下の懸念もある。

第1に雇用、続いて安全、サービスに対する納得性を勘案し会社対応を要請。

NSのあり方についてである。この間多くの意見が出され議論されているが、一定NSの役割は達したのではないか、NSの廃止も視野に議論を深めていただきたい。

博総リニューアルについてである。老朽化が進み、大規模な改良工事が必要である。快適な作業環境で効率的に業務を行うことが将来重要な要素である。



【第1小委員会】

第1小委員会は組織・財政について議論。福岡からは、川西、今村、大戸委員が出席。

【今村委員】

現在ダイレクトメールが活用されているが、登録者数が増えない現状に鑑み、SNSを有効活用し情報の共有化を図ってはどうか。

契約社員の正社員化についてだが、非効率な仕組みである。全員の正社員化、ひいては制度の廃止を訴え、安定雇用を勝ち取ってほしい。

女性の働き方についてである。これまで様々な制度を勝ち取ってきたがまだ不十分である。短時間勤務制度の適用年齢延長等、更なる環境整備を求める。

那珂川町議選について、選対事務局次長として関わってきた。選挙戦に入ってから分會を中心徹底した投票確認行動を行い、当選に繋げることが出来た。ローカル線につ



【第2小委員会】

第2小委員会は業務について議論。福岡からは、田中、中山、山崎委員が出席。

他会社の特急・新幹線の利用について、福岡の鉄道環境を鑑み通勤の負担軽減として利用出来るようにお願いする。

新幹線車掌・運転士登用のあり方について、車掌が通過点とならず技術継承が出来き、安定確保出来る制度の確立を求める。

交検周期延伸が実施され、テストカー走行試験が始まる。十分な議論が必要。また周期延伸に伴いグループ会社の業務が減少し経営に影響。グループの仲間として課題認識を。

